

住み慣れた地域で  
安心して暮らしていけるように

# 認知症 コラム

【第1弾】  
認知症地域支援推進員

こんにちは。わたしたちは認知症地域支援推進員です。これから1年間、毎月「認知症」に関する情報を発信していきます。

このコラムが町民の皆さんに認知症について理解していただくとともに、ほかの病気と同様に、認知症と上手に付き合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らしていける手助けの一つになることを願っています。

第1弾となる今月号では、「認知症地域支援推進員」についてお知らせします。

## どんなことを している人なの？

現在、与謝野町には5人の認知症地域支援推進員（岩滝あじさい苑ひより所属、グループホームふれあい所属、与謝野町地域包括支援センター所属）がいます。

認知症に関して不安のある本人や家族、かかわりの方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、医療機関や介護サービス、地域のさまざまな支援機関などと連携をして、町民の皆さんの日常生活を支援する専門職です。

与謝野町の皆さんが「認知症になってもならなくても、自分らしく幸せに暮らせるま

ち与謝野町」をテーマに活動を行っています。

## 主な活動内容

- ① 認知症に関してさまざまな情報をまとめて、パンフレットを作成して普及する。
- ② 認知症の方とその家族の方に対して、各関係機関と相互に連携を図りながら相談・支援体制を整える
- ※ 認知症初期集中支援チームなど
- ③ 町や丹後地域での認知症施策や認知症啓発イベントを具体的に計画し実行する。
- ※ 認知症セミナーなど
- ④ 認知症カフェは、暮らしに不安のある方などが気軽に交流ができる場です。カフェの開設や運営の支援をしています。現在、町内に

10事業所があります。

⑤ 「認知症サポーター養成講座」の開催の支援をしながら、地域の皆さんが認知症への理解を深める取り組みを進めています。また、若年性認知症の支援にも対応しています。



問 地域包括支援センター（福祉課内） ☎ 43-9021